

このコラムは、日本語の仕組みや使い方などを考えるコーナーです。
どうぞ、コーヒータイムのときにも、お読み下さい。

ことばのコラム ひとくちメモ (284)

アメダス ユレダス

夕食のあと、タモツ君のおじいさんがおばあさんと話しています。

「そうそう、気象情報に出てくるアメダスって、気づいている？」

「大雨の注意報のときなんかに使われる気象観測のデータシステムでしたっけ。」

「やはり「アメ」は「雨」になるんだ。気象庁が全国1,300か所に設置している無人の気象観測装置、Automated Meteorological Data Acquisition Systemの^{アメダス}AMeDAS。」

「語呂合わせみたいですね。」

「そう。語呂合わせ。地震の初期微動を検知して警報を発する装置が^{ユレダス}Urgent Earthquake Detection and Alarm SystemのUrEDAS。」

「地震だから「揺れ出す」のユレダスなんではないでしょうか。うまくできていますね。」

「うん。ことば遊びの感じがあって、楽しめる。」



Automated Meteorological Data Acquisition Systemを、単にアルファベットの頭文字をとると「AMDAS」ですよ。



^{アメダス ユレダス}「AMeDAS」「UrEDAS」なら、読んだだけで略していても元の意味との関連がわかるね。

